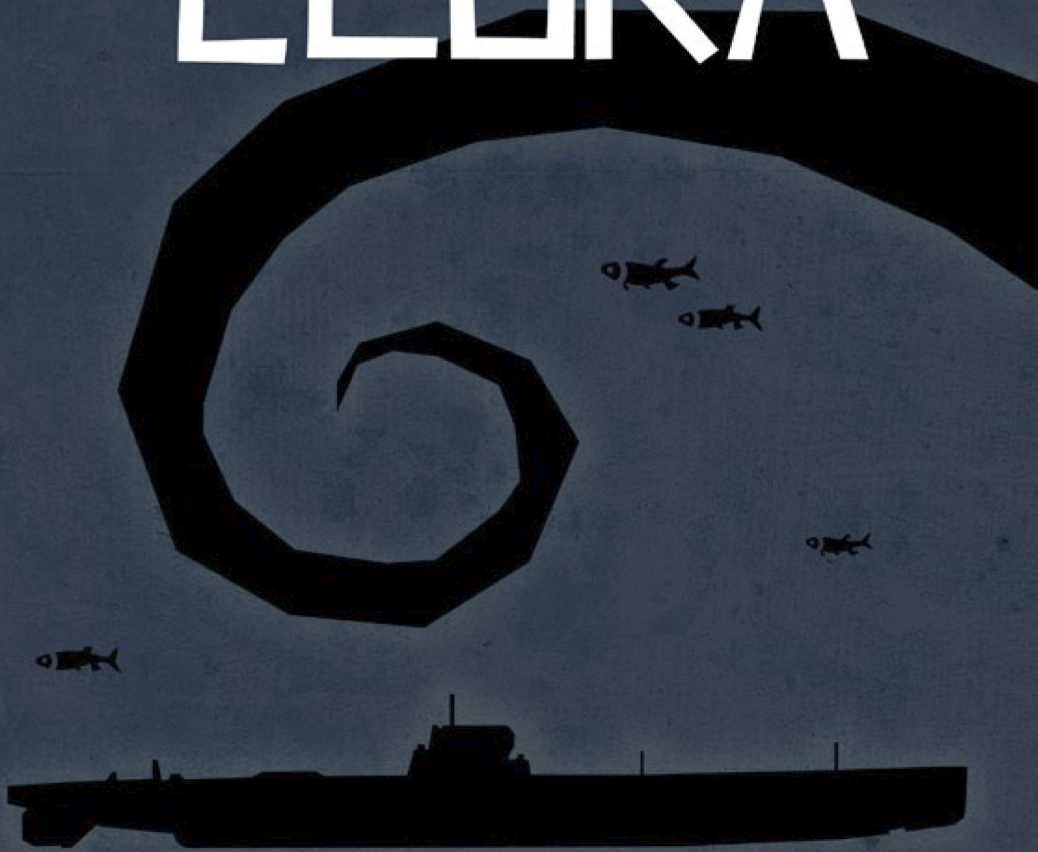


オブジェクティブ・ゼブラ

OBJECTIVE ZEBRA



A FIASCO PLAYSET BY
JEROME LARRE

JR01 オブジェクティブ・ゼブラ

クレジット

著：ジェローム「ブランド」ラル

訳：鮎方高明

編集：ジェイソン・モーニングスター、スティーブ・セゲディ

日本語編集：鮎方高明

表紙絵：ジェイソン・モーニングスター

初出：2011年1月版「Playset of the Month」

お約束の但し書き

このプレイセットは、ロールプレイング・ゲーム『フィアスコ』（Bully Pulpit Games）のアクセサリです。

『フィアスコ』について知りたい方は、もしくは他のプレイセットや資料に興味のある方は、harrowhill.rdy.jp をご参照ください。

もしプレイセットや『フィアスコ』関連コンテンツの作成に興味があるなら、協力できます。その際は、dunhere@harrowhill.rdy.jp（日本語）か info@bullypulpitgames.com（英語）までご連絡下さい。

This playset is copyright 2010 by Jérôme Larré. *Fiasco* is copyright 2009 by Jason Morningstar. All rights are reserved.

フォントは『たぬき油性マジック』『懐映体』『源ノ明朝』を使用している。また
ダイスフォントは Madirishman 製である。



“When you play, play *hard*.” - Theodore Roosevelt

背景

深く静かに潜航、……するも航行不能

合衆国海軍潜水艦 SS-495、USS サドルバック艦内は静寂に包まれていた。低地ザクセン地方の沖合、北海の何処かで柔らかい泥に埋もれ横たわり、その電池残量は失われつつある。

時は第二次世界大戦のさなか。君たちはこの任務に特選された。これは名誉ある任務だというふれこみで、極秘の元に一握りの市民をどこかへと輸送するというものだった。そうすれば彼らは戦争を勝利へと導く助けができるのだという。この任務は「オブジェクティブ・ゼブラ」と呼称されたが、思い通りには進まなかった。

君たちは浮上し、サドルバックの海図には存在しない島へ向かい、厳重な警備の下、民間人を送り出した。彼らはやるべきことを行い、そして取るもの取り合えず大急ぎで帰ってきた。後ろにドイツ軍の偵察機と高速艇 S ポートを引き連れて。エルベ川河口から来た哨戒艇より投下された爆雷によってあわや沈められるところであった。サドルバックは一縷の望みをかけて、素早く深く静かに潜航した。

サドルバックの限界深度は 200m である。着底時には深度計は 226m を指し、金属過負荷の軋み音が鳴っている。ポンプ室は水で溢れかえっており、前部魚雷発射管室は大きく浸水している。しかも締め付けられた耐圧殻から鳴る恐ろしい軋み音に混じり、サドルバック艦外から他の音も聞こえてくる。そう何か奇妙な、この世のものとも思えぬ音が。何にせよそれは、一番の古株が今まで一度も聞いたことが無いような音であった。そしてその音は近づいてきている。あの民間人たちは一体何をしでかしたのか？

君たちは標準的な潜水艦に閉じ込められており、ここから急いで逃げねばならない……そうあれが目の前に現れる、その前に！

映画祭

『U・ポート』、『U-571』、『ピロウ』、『K-19』

そこにある【人間関係】は……

1 指揮系統

- ・ 良きライバル
- ・ 士官×その恋人を口説いた乗組員
- ・ 情熱的な主導者×追従笑いのご機嫌取り
- ・ 第一次世界大戦で肩を並べて戦った
- ・ バカな怠け者×タフな古参兵
- ・ 乱暴者×彼を降格させた人物

2 乗組員

- ・ 農家出身の無知な少年たち
- ・ 職務に熱心な狂人たち
- ・ 同じ地位への昇進候補者として挙げられている2人
- ・ 「貴様ら両名はまれにみる才能故に特選された」
- ・ 結束が固い艦で孤立した2人
- ・ 恋人

3 RE: オブジェクティブ・ゼブラ

- ・ スパイ×海軍の諜報員
- ・ オカルティスト×海軍のカメラマン
- ・ 「博士」×海軍から派遣された担当官
- ・ スパイ×二重スパイ
- ・ カルト信者たち
- ・ 物理学者×海軍のから派遣された連絡係

4 古い絆

- 艦上では敵、上陸中は友
- ◻ 恋のライバル
- ◻ 俺たちが奴を殺した。だから奴に憑りつかれているんだ
- ◻ 俺たちは人命救助をした。そしてそのことを後悔している
- ◻ 「偶然」にも常にコンビを組んでいる
- ◻ 一方がもう一方を撃った。何か馬鹿げた理由で

5 犯罪歴

- 不良、ゴロツキ、ならず者
- ◻ 彼の犯罪歴は海軍から追放されるに充分だ：それを私だけが知っている
- ◻ いじめの加害者×軟弱者
- ◻ 対立する艦内集団のリーダーたち
- ◻ 殺人鬼×彼が殺したと思っている人物
- ◻ 艦内の達人詐欺師の被害者たち

6 家族

- 兄弟
- ◻ 対抗意識を持ち合っている従兄弟
- ◻ 父親×息子（しかしそれは規則違反
- ◻ 兄弟分
- ◻ 義理の兄弟
- ◻ 一緒に兵役を志願した孤児たち

それが……USSサドルバック艦内

そこにある【動機】は……

1 真実を知りたい

- ……あの夜、艦長居住区で何があったのかについて
- ……艦体についている引っかき傷について
- ……オブジェクティブ・ゼブラの本当の目的について
- ……乗組員たちに蔓延した急病について
- ……島で起きたことについて
- ……あの忌々しい箱は何なのかについて

2 尊敬されたい

- ……USS サドルバックの艦長から
- ……乗組員たちから
- ……君の暗黒面の師匠から
- ……高圧的な父から、恐らく彼は他界しているが
- ……君自身から
- ……サドルバックに同乗している秘密の元恋人から

3 隠したい

- ……オブジェクティブ・ゼブラに関わる命令を正確に遂行しなかったことを
- ……ドイツの工作員がいることを
- ……仲間の水兵を不可抗力で殺してしまったことを
- ……酔っばらいどもがたまに安全管理をしっかりやっていないことを
- ……君がこの混乱の、そうこの混乱のすべての原因であることを
- ……君がこの任務についてみんなの想定以上に詳しく知っていることを

4 面倒を最後まで見たい

- ……俺たちが浮上するのを待ち構えている卑劣なドイツっぽ野郎の
- ……家族の人気者であるバカナ兄弟の
- ……変わるために自分の
- ……ジョシュア・シェパード中尉の
- ……他は選べない、ジョージの
- ……君自身が感じている恐怖と孤独の

5 成功したい

- ……先祖の故郷、低地ザクセン地方の都市クックスハーフェンへの逃亡に
- ……家族で経営する農場への帰宅に、妊娠した恋人と結婚するために
- ……残念なことに手錠で繋がれているこの蒸気管からの脱出に
- ……この臭い空気とこの臭い連中から逃れるのに
- ……深海に隠れ潜む何かを避けるのに
- ……邪魔されることなく儀式に

6 告げたい

- ……艦長を殺す直前に艦長に、艦長が君の父親にしたことを
- ……海軍に、オブジェクティブ・ゼブラで起きたことを
- ……みんなに、幽霊のことと幽霊が何を欲しているかを
- ……神に選ばれし者に、準備が必要なことを
- ……上官に、クソツタレと
- ……科学者に、島に残してきた彼の鞆に君が何を加えたのかを

それが……USSサドルバック艦内

そこにある【場所】は……

1 任務(回想)

- USS サドルバックの海図台、普段とは違う海図が広げられている
- ◐ キャノン級護衛駆逐艦 USS エルドリッジの甲板
- ◑ 追われ、爆雷攻撃を受け、浸水中で沈没中
- ◒ 水面上、水平線に見える島、甲板上の小型ボート
- ◓ 地獄そのもの、もしくは生き地獄
- ◔ ドイツ軍高速艇 S ボート、すでに沈没した難破船

2 グロトン海軍基地(回想)

- ルーズベルト大統領の自動車行列
- ◐ グロトンの安酒場、“五尋クラブ”
- ◑ 厳重に警備されたコンクリート製掩体壕、「ゼブラ・プライム」との標識
- ◒ 研究用圧力室 1 号室
- ◓ 路地で、提督とともに
- ◔ 臨時任務用兵舎、恐怖で重苦しい雰囲気

3 島(回想)

- 古代寺院の廃墟
- ◐ 地下、銃を連射しながら
- ◑ ドイツ軍施設
- ◒ 奇妙な小尖塔
- ◓ 流木でくみ上げられた避難所、血みどろである
- ◔ 集団墓地を下方に眺めて

4 我々が事をなす場所

- 非現実的なまでに静寂に満ちた機関室
- ◻ 血まみれの魚雷発射管にぎっしりと詰め込まれて
- ◻◻ ある程度浸水したポンプ室
- ◻◻◻ 士官用食堂、しかしいまでは散らかりきっている
- ◻◻◻ 無線機室、気味の悪い雑音を発している
- ◻◻◻◻ 今は誰もいないはずの司令塔

5 我々が物を保管している場所

- 魚雷発射室、甲板を転がる信管の付いた「魚」とともに
- ◻ 汚い寝台の下
- ◻◻ 清水タンク、その物がこの中で浮かんでいて良いはずがないのだが
- ◻◻◻ 艦の食糧貯蔵庫、なぜか不思議なことに空っぽである
- ◻◻◻◻ 士官用区画に設けた即席病室
- ◻◻◻◻◻ 漏れる油を受ける油だめの中

6 我々が現在避けている場所

- 今は焼け落ちた艦長居住区
- ◻ 艦外、水圧高い深海
- ◻◻ 廃水槽の中
- ◻◻◻ 前部第三魚雷発射管の中、無理やり詰め込んだため扉が開かない
- ◻◻◻◻ 南京錠で施錠されたアンティーク風の旅行鞆
- ◻◻◻◻◻ 立って入れない低さの電源室

それが……USSサドルバック艦内

そこにある【物品】は……

1 武器

- コルト M1911 拳銃
- ◻ M3A1 短機関銃「グリースガン」
- ◻ 古くて大きな包丁
- ◻ 信号拳銃
- ◻ マーリンスパイク
- ◻ バッテリー用希硫酸の受け皿（アルミニウム製）

2 道具

- 使い過ぎで破損しているチェーンソー
- ◻ 異様にきれいな金槌
- ◻ 配管工が使う巨大なレンチ
- ◻ マンセン式水中呼吸器、潜水艦脱出用具
- ◻ 深度計
- ◻ 一風変わった外科手術用器具類

3 無くなって見つからない

- 第三魚雷発射管の歯車
- ◻ 無線機のマイク
- ◻ 艦長の軍服
- ◻ 錠剤、たくさんの錠剤
- ◻ 艦の備蓄食料の半分
- ◻ 武器保管庫の鍵

4 不思議な安らぎ

- ガラスが砕け精度があてにならないコンパス
- 油じみが付いていて古びている聖書
- アート・テイタムの署名入りレコード、個人的なメッセージ付き
- 直刃剃刀、乾いた血が刃にわずかに残っている
- 現在使われていない言語で書かれた日記
- 注意深く隠されたウイスキーのボトル

5 思い出

- 女性1人と子供2人の写真、「1932年、ミュンヘン」と手書きされている
- 潜水艦内の幽霊の写真、「機密」と記されている
- サドルバックの前任士官たちがそろった油絵
- エロ雑誌、暗号で書き込みがある
- 悪魔召喚の手引きが一揃い
- ベルベットの内張りの箱に収められた海軍十字章

6 不穏

- 奇妙な偶像、深海の泥に埋もれている
- 13人分の名前、そのうち何人かは線を引いて消されているが彼らは最近殺されている
- 破壊されたハッチの扉、金属部に拳の跡が浮かんでいる
- 開封時指定命令
- トリノの聖骸布
- コックの日記、艦内の全員に毒を盛ったことが書かれている

それが……USSサドルバック艦内

潜水艦の

【即席設定】

水面下の【人間関係】

プレイヤーが3人の場合は……

- * 指揮系統：乱暴者×彼を降格させた人物
- * 犯罪歴：殺人鬼×彼が殺したと思っている人物
- * RE: オブジェクティブ・ゼブラ：オカルティスト×海軍のカメラマン

プレイヤーが4人の場合は、それに加えて……

- * 乗組員：恋人

プレイヤーが5人の場合は、それに加えて……

- * 古い絆：俺たちが奴を殺した。だから奴に憑りつかれているんだ

水面下の【動機】

プレイヤーが3人の場合は、1つを……

- * 告げたい：みんなに、幽霊のことで幽霊が何を欲しているかを

プレイヤーが4人か5人の場合は、加えて1つを……

- * 真実を知りたい：オブジェクティブ・ゼブラの本当の目的について

水面下の【場所】

プレイヤーが3人か4人の場合は、1つを……

- * 我々が現在避けている場所：立って入れない低さの電源室

プレイヤーが5人の場合は、加えて1つを……

- * 島（回想）：古代寺院の廃墟

水面下の【物品】

プレイヤーが3人、4人、5人の場合は、1つを……

- * 思い出：潜水艦内の幽霊の写真、「機密」と記されている